

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-223355

(P2004-223355A)

(43) 公開日 平成16年8月12日(2004.8.12)

(51) Int.Cl. ⁷	F 1	テーマコード (参考)
BO1J 19/12	BO1J 19/12	4G065
BO1J 13/00	BO1J 19/12	4G075
	BO1J 13/00	Z

審査請求 未請求 請求項の数 3 OL (全 6 頁)

(21) 出願番号 (22) 出願日	特願2003-12145 (P2003-12145) 平成15年1月21日 (2003.1.21)	(71) 出願人 財団法人かがわ産業支援財団 香川県高松市林町2217番地15
(出願人による申告) 国等の委託研究の成果に係る特許出願 (平成14年度新エネルギー・産業技術総合開発機構「ナノテクノロジープログラム (ナノマテリアル・プロセス技術) ナノ粒子の合成と機能化技術プロジェクト」の委託研究、産業活力再生特別措置法第30条の適用を受けるもの)	(72) 発明者 近田 司 香川県高松市林町2217番地43号 (財) かがわ産業支援財団高温高压流体技術研究所内	(72) 発明者 加藤 俊作 香川県高松市林町2217番地43号 (財) かがわ産業支援財団高温高压流体技術研究所内
	Fターム(参考) 4G065 AA06 AB01X AB17X AB17Y BA06 CA01 DA04 DA09 FA02 4G075 AA27 BA06 CA02 CA03 CA26 CA57 FB01	

(54) 【発明の名称】 無機微粒子分散流体とその製造方法

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 溶液法で生成した超微細な固体粒子は、非常に凝集しやすく、粒子同士が再結合して粗大な二次粒子を形成しやすい。凝集した粒子を解砕するために多大のエネルギーを要すこと、更には解砕時に異物が混入して純度が低下しやすい等の課題がある。

【解決手段】 無機固体微粒子製造過程における微粒の凝集、塊状化および利用に際しての二次的解砕処理あるいは解砕時の異物混入汚染等の問題点を解消するため、微粒子製造用水溶性原料化合物、水、水不溶性の媒体油および好ましくは水不溶性の界面活性剤よりなる混合物に塩基を加えてマイクロ波を照射することによりナノサイズ粒子が単分散した流体が得られることを見出した。

【選択図】 図1

